

令和6年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第2回）

議事概要

1 日時：令和6年9月27日（金）14：02～14：50

2 場所：食品安全委員会中会議室（Web 会議システムを利用）

3 出席者（8名）五十音順

荒川 宜親 藤田医科大学医学部客員教授

磯 博康 国立研究開発法人国立国際医療研究センター

国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センターセンター長

小澤 正吾 元・岩手医科大学教授

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当

◎眞鍋 昇 東京大学名誉教授

宮崎 茂 一般財団法人生物科学安全研究所参与

横田恵理子 慶應義塾大学薬学部准教授

四方田千佳子 国立医薬品食品衛生研究所客員研究員

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から山本委員長ほか2名が、事務局から中事務局長ほか9名が出席した。

4 議事概要

（1）令和5年度終了研究課題の事後評価結果（案）について

○ 前回の事後評価部会のヒアリング審査における各委員の意見を取りまとめて作成した各課題の評価所見（案）について、審議を行った。

○ その結果、各委員からの意見を踏まえて、評価所見（案）の文言を若干修正し、食品安全委員会に報告することになった。

<事後評価対象課題>

- ・ 国内の鉛ばく露の実態と小児の神経発達への影響に関する研究
- ・ アニサキス食中毒のリスク評価に関する調査研究
- ・ *Campylobacter jejuni* における未解明な環境適応機構に対する新しいアプローチの確立
- ・ 化学物質による非遺伝毒性発がんの新規リスク予測・評価手法の開発
- ・ 細胞培養技術を用いて製造される食肉のリスク評価手法に関する研究

（2）食品安全確保総合調査の事後評価結果（案）について

令和5年度食品安全確保総合調査課題の事後評価結果（案）について、審議を行

い、当該案が了承された。

<事後評価対象課題>

- ・ アレルゲンを含む食品のファクトシート（そば類、えび・かに）の作成に向けた科学的知見の調査
- ・ パーフルオロ化合物に係る国際機関等の評価及び科学的知見の情報収集並びに整理
- ・ 農薬リスク評価に関する海外状況調査（令和5年度）
- ・ 食品安全委員会が地方自治体等と連携して行う食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションの強化に関する調査（令和5年度）
- ・ 新たな育種技術を活用した新規食品の安全性評価手法等に関する調査

－以上－

（注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。）